

建設観光委員会会議録

1. 日 時 平成23年1月14日(金曜日)
午後1時00分～午後1時18分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 馬屋原 眞 一 委員長 萬代 泰生 副委員長
河村 淳 委員 村上 健二 委員
田邊 諄 祐 委員 下井 克己 委員
有道 典 広 委員 岩本 明 央 委員
秋山 哲 朗 議長
4. 欠席委員 なし
5. 欠 員 1名
6. 出席した事務局職員
重村 暢 之 議会事務局長 岩崎 敏 行 議会事務局主査
岡崎 基 代 議会事務局係長
7. 説明のため出席した者の職氏名
村田 弘 司 市長 林 繁 美 副市長
伊藤 康 文 建設経済部長 斉藤 寛 建設経済部次長
矢田部 繁 範 建設経済部建設課長 秋枝 秀 稔 建設経済部農林課長
山本 勉 総合観光部長 綿谷 敦 朗 総合観光部観光総務課長

午後 1 時 0 0 分開会

委員長（馬屋原眞一君） 只今より建設観光委員会を開会いたします。先程の本会議におきまして本委員会に付託されました議案 1 件につきまして審査をいたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。それでは議案第 1 号平成 2 2 年度美祢市一般会計補正予算（第 7 号）を議題といたします。執行部より本委員会所管事項について説明を求めます。綿谷観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（綿谷敦朗君） それでは議案第 1 号平成 2 2 年度美祢市一般会計補正予算（第 7 号）についてご説明いたします。資料の 1 0、1 1 ページをご覧ください。2 款総務費・1 項総務管理費・1 6 目きめ細やかな交付金事業費・1 5 節工事請負費の 5 番観光地施設整備事業、施設整備工事 5 3 0 万 4 , 0 0 0 円をお願いするものでございます。この施設整備工事につきましては、於福地区の水神公園のトイレでございます。このトイレ現在汲み取り方式ですので、浄化槽を設置し、環境整備を図ろうとするものでございます。また現在汲み取り方式ですので、汲み取り料が年間約 8 0 万円かかっております。浄化槽設備にいたしますと年間 1 5 万円程度となり、経費の節減が図れるものでございます。財源につきましては前ページ、8 ページ、9 ページにございます 1 4 款国庫支出金・2 項国庫補助金・6 目総務費国庫補助金・8 節きめ細かな交付金を充当するものでございます。以上でございます。

委員長（馬屋原眞一君） はい、秋枝農林課長。

建設経済部農林課長（秋枝秀稔君） 続きまして、そのすぐ下の 0 0 6 桂岩ふれあいセンター施設整備事業ということで 1 0 5 万円お願いするものでございます。桂岩ふれあいセンターにつきましては、旧桂岩小学校の廃校にあたりまして、地域活性化の拠点として平成 7 年 4 月に校舎を改装して設置されたところでございます。当施設は、宿泊や各種イベントを実施することを含めて改装されましたが、従来の学校施設の水量では絶対的に水量不足ということで、水源を求めたわけでございますが、近隣に無く、およそ 1 キロ離れた井戸から汲み上げて、パイプラインにより施設内に送りまして、受水槽でこれを受けまして、これを滅菌処理のうえで、ポンプで再度施設内に発送・配管・配水しているところでございます。2 台のポンプを据えまして交互運転に配水しているわけでございますが、一台のポンプが現在故障しておりまして、現在一台のみで運転しておりますが、この一台も異音を発してお

りまして、何時故障するかわからないという綱渡りの状態となっておりまして、緊急に修理を必要とするものであります。このふれあいセンターにつきましては、指定管理者である桂岩ふれあいセンター管理組合で管理しておりまして、管理に関する協定書28条のリスク分担にかかる区分によりまして、10万円以上の大規模修繕については美祢市の分担となっており、これを負担するものでございます。以上でございます。歳入につきましては先程同様きめ細やかな交付金ということでございます。よろしく願いいたします。

委員長（馬屋原眞一君） 矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） それでは同じページの007駅前広場整備工事でございますが、きょう現在机上に配付しております、JR美祢線美祢駅前の街灯整備、図面に示しております3基LEDを3基、400Wを駅舎側に2基、それと向かって左側、自家用の送迎用の駐車場があるんですが、そこに1基、3基を設置をするものでございます。美祢線の復旧支援といたしまして、需要促進につなげていきたいということで今回整備をお願いするものでございます。続きまして、11ページのその下008公営住宅整備工事でございます。806万2,000円。施設整備といたしまして、一つとして秋芳の別府にあります大日団地の外周のフェンスが老朽化でもう壊れているということで張り替えを140m、もう一点が美東の真名にあります白土団地の中の間仕切りのフェンスと門扉、これは当時木造、木で柵をしておったんですけども、老朽化でもう使えない状態になっているということで、今回改修をするものでございます。それとその下ですけど施設除去工事。これは秋芳町秋吉にあります福王田団地、老朽化してもう住むことが出来ないということで、1棟ほど解体するものでございまして、112万1,000円を計上しております。歳入につきましては先程申しておりますとおり、総務の国庫補助金のきめ細かな交付金で対応するものでございます。以上でございます。

委員長（馬屋原眞一君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。はい、河村委員。

委員（河村 淳君） 今説明があった中でちょっと聞き漏らしたかも分らんが、公営住宅の整備事業で、白土の間仕切りのフェンスがどうか言うたが、メーター何メーターある。

委員長（馬屋原眞一君） 矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） 仕切りの間仕切りが、各団地の共同のところの間仕切りが6箇所あります。幅が6 m 1 1のものが高さ1 . 5のものが3箇所と、幅が4 . 8 7 mのものが高さ1 . 5のものが3箇所でございます。以上でございます。

委員長（馬屋原眞一君） そのほかございませんか。はい、田邊委員。

委員（田邊諄祐君） 観光事業のですね投資の件なんですけど、先程の本会議で河村さんがですね、河村議員のほうで的を絞られたらどうかと言われたわけなんですけど、私もそのように感じてます。と言いますのは日本全体で見た場合にですね。日本の、ちょっと話難しくなると思いますが、GNPの500兆円のうち400兆円は東京、大阪、名古屋で稼いでいるそうです。従いまして、美祢市の場合ですね。やはり秋芳洞を一つのテーマにして、秋芳洞にやっぱり力を注ぐことが僕は大変重要だと思うんですよ。だから他のところにいるいろいろな地域振興のためにいろいろ施設がありますが、やはりポイントを絞ってやるのが非常に大切だと思います。いくら逆立ちしてもですね、小さな観光施設についてはあまり投資をした効果がなくなるんじゃないかと思えます。従いまして、私が一つ言いたいのはですね、せっかく秋芳洞に年間60万、市長は100万から200万近く人数を希望されると思うんですけど、それらをですね如何に実現するかということになると、やはり秋芳洞に行ったお客さんがですね、例えば美祢市に非常に名産物、例えば梨とかですね栗とか柿もあります。そういうところに観光開発によってですね増やすことは大事だろうと思えます。従いまして、例えば梨、梨はある程度観光事業が進んでるんですけど、美祢市の厚保栗というのは非常に有名だしですね、そういうところにですね一つ実験プラントをこしらえてですね、そこにある程度投資をして、例えば道路とかですね。それからこないだ県の偉い人のところに会ってきたら、今回の地方交付金では農業にレストランなんかもですね投資するんだと言う話もございませぬ。従いまして、実験プラント箇所をですね。例えば柿でも結構です。ブドウでも結構です。栗でも結構なんですけど、そういうところを二、三千万円でも投資をして、試験的に如何にそれを、もちろん加工施設を作って、レストランをこしらえてコーヒーでも飲むなり、栗のいろいろな加工品を売るということを考えられたらどうかと思えます。（発言する者あり）そういうことですね。例えば先程市長の話もありましたけど、観光施設については加工品を売らなくてはいけない。確かにそ

のとおりです。それをするためにはですね、やはり時間がかかるわけですね。新しいものを作っていくためには。そのためにはやはり、例えばこないだ先般視察で金沢に行ってきたんですけど、金沢とか岐阜県の江野あたりはですね、栗の菓子です。ですね非常に上品なものを一つのワンフロアで売ってるような感じなんです。ですからそれにはお客さんもものすごく当然おられますし、どんどん売れてるわけですね。ですからそういうところの職人を引っ張ってきてでもですね、それを職員にしてでもですね、そういう考え方を往々に投資されるような考え方をしないと、確かに言われることは正しいんですけど、それには時間もかかりますし、可及的に速やかにやるのが大事だと思いますので、その辺を考えてせっかくの交付金でございますので、有効に活用してもらいたいと思うんですが、市長さん如何でございますでしょうか。

委員長（馬屋原眞一君） はい、村田市長。

市長（村田弘司君） 提案を申し上げた議案に対する質疑だろうと思います。冒頭申された秋吉台、秋芳洞に特化をして、お金を投資するほうがいいんじゃないかと言うふうなご主旨だったと思います。今回お出ししてるのがですね水神公園の浄化槽の整備ということで530万4,000円と。ですからその意味で言うと田邊委員の思いとは違うかも知れませんが、私は秋吉台・秋芳洞というのはこの美祢にとって非常に大切な核としての観光資源だろうと思ってます。しかしながらこの美祢市全域を振興させていく上において、秋芳洞を中心とした周辺部の観光施設もですねやはりきちんと整備していく必要があるだろうと思ってます。そうしないとこの美祢市に入られたせっかく入ってこられた流入された方々をですね、どういうふうに回していったどこでお金を落とさせていただくかということにも繋がってまいりますから、秋芳洞周辺だけを整備をするというだけではなしに、私は美祢市全域の整備を考えておるということ。現実的にですねこの於福の水神公園につきましては、年間3万人からの方が来ておられるという実績もあります。それを更に増やすということも大きな観光資源の生かし方だろうということをおもっておりますので、そのことについてのお答えとさせていただきたいと思います。

委員長（馬屋原眞一君） そのほかございませんか。はい、下井委員。

委員（下井克己君） 駅前のLEDの関係なんですけど、この駐車場のところに一つございますよね。あれ道路のほう照らすのが目的なんですか。私的には駐車場の中

を照らすほうがいいんじゃないかと思うんですが。

委員長（馬屋原眞一君） はい、矢田部建設課長。

建設経済部建設課長（矢田部繁範君） 只今の委員さんのご質問ですけど、駐車場のほう照らす方向で考えております。以上です。（発言する者あり）

委員長（馬屋原眞一君） はい、伊藤建設経済部長。

建設経済部長（伊藤康文君） 今の質問についてですが、ここは駅前広場ということで駅舎の全面ということで、美祢市でも一番表ということで、この広場全体を明るくするというイメージでございます。従って、今LEDの照明が今、後側のほうに向いてるということもございますが、この空間全体を均等に明るくしたいということです。説明にはLED以外に真ん中に十字に赤く塗ってると思いますが、これを既存で光らすようになってますから、結果的にはこの広場を既存の電気がまだLED以外に2箇所ございますので、全体を明るくするというで捉えておりますのでよろしく。

委員長（馬屋原眞一君） ほかに。はい、河村委員。

委員（河村 淳君） さっき観光施設整備事業の汲み取りの件でちょっと聞いてみたいんじゃが、これは浄化槽はだいたい何人槽ぐらいあるのか。設置されるのか。

委員長（馬屋原眞一君） 綿谷観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（綿谷敦朗君） 設置する浄化槽の人槽につきましては、14人槽で対応をしたいと考えております。

委員（河村 淳君） 今の回答14人槽ということは、どういう根拠で14人槽なっちゃうか。

委員長（馬屋原眞一君） 綿谷観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（綿谷敦朗君） 現在、汲み取り方式の貯水槽が、90.75立米ございます。これが年一回の汚水の引き抜きでございます。この水神公園、7月から9月中旬が集中的にお客様が集まる時期でございます。この3ヶ月間に稼動している状況が一番長いということで、まず90立米割ることの90日で1日当たりの立米数を出しております。約これが1.35ぐらいになります。この曜日による変動と安全率等考慮しまして、この2倍を計算上入れております。そうしますと1日当たり2.4立米ということになります。合併浄化槽の処理能力として14人槽が1日当たり2.8立米となっておりますので、この14人槽が適当で

あると考えております。以上でございます。

委員長（馬屋原眞一君） そのほか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（馬屋原眞一君） それでは本案に対するご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（馬屋原眞一君） それではこれより議案第1号平成22年度美祢市一般会計補正予算（第7号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（馬屋原眞一君） 全員異議なしと認めます。よって議案第1号は原案のとおり可決されました。

以上もちまして本日の本会議で本委員会に付託されました議案1件につきましての審査を終了いたしました。それではこれにて本委員会を閉会いたします。ご審査、ご協力誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

午後1時18分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成23年1月14日

建設観光委員長

